

# 議会だより



はこね



箱根町総合防災訓練

## 主な内容

- 8月臨時会・9月定例会結果等… P2~3
- 決算特別委員会 …… P4~5
- 一般質問 …… P6~10
- 箱根町総合防災訓練 …… P11
- 姉妹都市 洞爺湖町議会議員 来町 …P12

**8月臨時会****補正予算****1. 令和4年度箱根町一般会計補正予算（第3号）**

補正額 1億2,338万8,000円追加

**主な内容**

- ①箱エールクーポン券事業…1億1,953万7,000円
- ②介護保険事業所燃料価格高騰対策支援事業…125万9,000円
- ③医療機関燃料価格高騰対策支援事業…1万6,000円
- ④公共交通事業者燃料価格高騰対策支援事業…257万6,000円

**9月定例会****条例改正**

- 箱根町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定  
地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、現行条例の一部を改正

**補正予算****1. 令和4年度箱根町一般会計補正予算（第4号）**

補正額 3億4,008万9,000円追加

**主な内容**

- ①防災行政無線設置手数料追加…35万7,000円
- ②防災行政無線設置工事費補助金追加…12万8,000円
- ③財政調整基金積立金追加…3億2,816万円
- ④地域住民移動支援促進事業…250万円
- ⑤子宮頸がんワクチン接種事業…124万4,000円
- ⑥修繕料追加（宮ノ下浄化槽管理費）…70万円
- ⑦浚渫等手数料追加（道路維持費）…500万円
- ⑧浚渫等手数料追加（河川総務費）…200万円

**2. 令和4年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）**

補正額 1,146万円追加

**主な内容**

- 後期高齢者医療広域連合納付金（負担金補助及び交付金）…1,146万円

**3. 令和4年度箱根町介護保険特別会計補正予算（第2号）**

補正額 1,037万6,000円追加

**主な内容**

- ①国庫負担金等過年度還付金…743万4,000円
- ②社会保険診療報酬支払基金交付金過年度還付金…272万円
- ③県負担金過年度還付金…22万2,000円

**4. 令和4年度箱根町一般会計補正予算（第5号）**

補正額 3,960万円追加

**主な内容**

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業追加…3,960万円

**8月  
臨時会****会期**

8月4日

**補正予算  
1件****9月  
定例会****会期**8月29日から  
10月3日まで**可決(5件)****条例改正  
1件****補正予算  
4件****同意(2件)****人事案件  
2件****認定(12件)****令和3年度各会計決算  
12件****報告(1件)****議会議事案件****可決(1件)****決 議  
1件****選挙(1件)**



## 決算認定（付託案件）

※P4-5に決算審査関連記事を掲載。

○令和3年度箱根町一般会計及び9特別会計歳入歳出決算並びに水道事業会計・公共下水道事業会計の剰余金処分及び決算の認定について決算特別委員会に付託されていたもので、委員長報告のとおり認定された。

## 人事案件

- 教育委員会委員の任命について 橋口 裕子 さん（湯河原町在住）（再任）
- 人権擁護委員候補者の推薦について 勝俣 仁 さん（二ノ平在住）（再任）

## 報 告

○財政の健全化判断比率等について  
 比率等の算定が法令等の趣旨に沿って適切に行われているかどうか、決算書及び統計数値等に基づき適正に表示されているか等、各種帳票を確認するとともに関係職員からの説明を求めた結果、審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

## 議会議事案件

### 決 議

○箱根町議会議員の適正定数に係る調査に関する決議について  
 ※箱根町議会議員の適正定数に係る調査については、箱根町議会議員適正定数調査特別委員会を設置し、継続審査となった。

### 選 挙

○選挙管理委員及び同補充員の選挙について  
 ⇨各地域の代表からなる選考委員会において選考し、議長の指名選挙により次の通り決定された。  
 選挙管理委員：安藤 英夫 さん（大平台在住）（再任）、清野 正子 さん（宮城野在住）（再任）  
 土屋 孝子 さん（仙石原在住）（再任）、甲斐 貞生 さん（湯本在住）（新任）  
 選挙管理委員補充員：岡野 恵美 さん（箱根在住）（再任）、湯川 耕一 さん（強羅在住）（再任）  
 石井 修 さん（宮ノ下在住）（再任）、高辻 秀樹 さん（仙石原在住）（新任）  
 ※補充員は選挙管理委員に事故があった時に繰り上がる方。

## 議員別議案賛否一覧（賛否等が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	鈴木美貴	勝俣陽二	佐藤章子	川口延明	勝俣剛一	村野由紀子	勝俣泰彦	稲葉親太郎	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	山田成宣	
43	令和3年度箱根町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
45	令和3年度箱根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
46	令和3年度箱根町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ ○：賛成 ×：反対 —：議長は採決に参加しません。

# 特別委員会

評価したり、今後の行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。

決算特別委員会は、正副議長、監査委員を除く議員10名で構成され、8月下旬から9月中旬にかけ4日間にわたり会議を開き、町当局と令和3年度一般会計、9特別会計及び2事業会計、計12会計の歳入歳出決算について審議しました。決算審議は、町の予算が正しく執行され、事業総数228事業が町民の社会生活・教育福祉の向上に寄与し、観光を中心とした経済等の発展に効果が見られたかを厳しく追及するものです。

一般会計及び9特別会計を合わせた歳入総額は151億6,626万2,951円、歳出総額は144億9,680万3,656円で黒字決算となったものです。令和3年度は、ワクチン接種事業や各感染症対策事業、コロナ禍における生活支援として買い物ができる「箱エールクーポン券」発行、箱根経済の活性化を促す「箱いこクーポン券・箱ぴたサンクスクーポン券」発行など、今までにない特殊な事業が展開された年でもあります。予算化された全ての事業は何れも的確に執行され、効果が認められたことにより、一般会計、9特別会計及び2事業会計は全員賛成、若しくは賛成多数によって全て認定されました。

決算特別委員会の大事な目的は、こうしたやり取りをする事によって、令和5年度の予算編成に、町民の考えを議会が代弁し反映させることを主眼として開かれる大事な委員会でもあります。次年度予算審議となる次回3月定例議会では、この審議内容が反映されているのか、私たち議会は町当局と改めて厳しい論戦をしてまいります。

決算特別委員会 委員長 折橋尚道



決算特別委員会の様子

## 審査のチェックポイント

### 歳入編

町税等の収入の状況確認  
補助金の確保の動向  
町債等の動向  
その他の収入動向

### 歳出編

支出の適法適正の動向  
不要額の妥当性  
予算流用の適正状況  
予備費の充当の適正度  
補助金の効果  
その他留意事項について  
主な施策の成果の活用  
財産に関する調書明細書の活用  
基金の運用状況の審査  
財産運用の適否の判断  
仕事の出来高と出来具合の審査

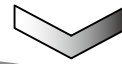


令和3年度予算は  
こちら

## 決算認定までの流れ

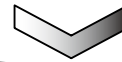
決算とは予算執行の結果、どのような成果があったかを示す成果報告で、会計年度が終わってから、時間をかけて慎重に審査を行います。

令和4年3月31日  
会計年度終了



令和4年5月31日  
出納整理期間終了

- ・会計管理者が町長に決算を提出
  - ・監査委員が決算審査し、町長に意見書を提出
- ※ 監査は秋山代表監査委員と、沖津監査委員が厳正に行いました。



令和4年  
9月定例会

町長が監査委員の意見書を添えて議会に上程



決算特別委員会での審査  
(質疑)

開催日 9月13、14、21日  
審議時間 午前10時～午後5時



定例会で討論を行い  
各会計ごとに採決



全員賛成または賛成  
多数で認定

※ 賛否が分かれた議案は、P3の議員別議案賛否をご覧ください。



決算特別委員会の様子

# 令和3年度 決算を審査!!

# 決算

決定した予算が適正に執行されたか審査し、その行政効果や経済効果を

## ここに注目!! 具体的な審査内容

令和3年度決算  
概要はこちら



### 歳入編

- (個人) 町民税
  - ・不納欠損額について
- 固定資産税
  - ・固定資産税全般について
- 入湯税
  - ・コロナ禍前との比較について
- 観光使用料
  - ・森のふれあい館、ジオミュージアム、箱根湿生花園の対前年度比増収の要因と今後の見込みについて
- 土木使用料
  - ・町営住宅使用料、駐車場使用料、行政財産使用料の内訳について
- 衛生使用料
  - ・宮ノ下浄化槽使用料滞納繰越分の内訳と今後の対応について

### 歳出編

- 箱根 DMO 支援事業
  - ・補助金額の根拠について
- ハイキングコース等整備事業
- (仮称) 小涌谷防災広場整備事業について
- さくら館の温水プール利用者の実績について
- 木造住宅耐震化補助事業
  - ・特化地域 (宮城野) での実施成果について
- 消防情報機器整備事業および消防車両整備事業について
- 仙石原湯沢川整備事業および湖尻川整備事業について
- 小学校校舎等整備事業について
- 育英奨学金特別会計
  - ・債権回収業務委託増額の理由と内容について
- 公共下水道事業会計
  - ・酒匂川流域下水道について

## 討 論

### 決算認定に対しての、賛成・反対討論

#### 賛 成 至 誠 会

令和3年度は引き続きコロナ禍の影響により、町税収入は減少となったものの、個人消費の改善や景気持ち直しの動きもあり、全体の歳入から歳出を引くと黒字を確保することができた。経常収支比率は99.6%であり、未だ厳しい財政状況の中で、今後の行財政の運営にあたっては、公共施設の統廃合を積極的に行い、選択と集中、最小の経費で最大の効果上げるとした理念を職員一人一人が深く認識し、質の高い行政サービスの充実と更なる町民福祉の向上を期待し、賛成討論とする。

#### 賛 成 緑風クラブ

長らく景気低迷の中、職員が知恵を絞り業務に取り組んでいることが黒字決算の元であるとみる。収入の根幹である税収入が未だ回復はしていないが、事業の合理化や先送りでの対処、取り組みは評価する。  
そのような中、入湯税が最盛期より3億円も少なく、伸び悩んでいるが町内経済を潤わすため官民合同で集客に努められたい。  
不納欠損 (徴収の見通しが立たなく未収金から除くこと) の発生をなくするために早めの対処を行い、税負担の公平性ととも町民の納税意識向上に努めていただきたい。

#### 賛 成 村野由紀子 議員

主な政策は、高齢者の買い物支援サービスの試行実施やバス回数券助成、小中学校児童生徒給食費無償化、ハザードマップ改定等。コロナ禍に対応するため基金を取り崩し住民生活の安定を図った。行財政アクションプランの件費、時間外勤務を毎年1%ずつ削減する目標を達成する努力、職場カルテの実施、テレワークを有効活用し、ウイズコロナの視点で着実に行財政改革への積み残しを極力減らせるよう町一丸となって取り組まれることを期待する。

#### 反 対 日本共産党

勝俣町政の初めての予算編成であったが、新型コロナの影響により事業の執行に大きな影響が及んだ。しかし、箱エールクーポン券や中小企業感染症対策、ワクチン接種事業等職員一丸で取り組み、また、小中学校給食費無償化、バス回数券補助事業などの執行は評価できるが、固定資産税における超過課税と国際観光ホテル整備法による不均一課税、情報漏洩の恐れがあるコンビニ証明書発行事業、ごみ処理広域化事業については認められない。

9月定例会では、町政全般へ8人の議員が、17項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問内容	ページ
勝俣 陽二	・箱根町における地方交付税交付金について ・箱根町における地域公共交通について	6
折橋 尚道	・中学校課外活動の現状と今後	7
佐藤 章子	・ごみ処理広域化について	
遠藤 秀則	・町道路線の拡幅について ・人口減少に対する今後の対応について	8
勝俣 泰彦	・廃棄物処理に係る指導等について ・消防署仙石原分署及び消防団第9分団詰所の建て替え計画について	
村野由紀子	・健康づくりの推進について ・生活環境の整備について	9
山田 和江	・新型コロナウイルス感染症対策について ・自治体デジタル化について ・湿生花園の植生管理について ・地域手当について	
鈴木 美貴	・全国学力・学習状況調査について ・少子化対策について ・豪雨災害に対する備えについて	10

※ **Q** は議員の質問、 **A** は町側の回答です。

一  
般  
質  
問

町の考え方を問う！



町が地方交付税交付金を交付されるために、何か方策はないのか

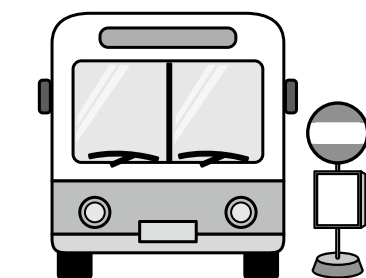
町… 繰り返し国や県に対して、要望や意見書を提出していく

**Q** 多くの町民の方々が「箱根のバス代は高すぎる」との声を聞く中、10月からは、さらにバス料金の値上げが予定されている。

**A** 町長 町としては、国や県に繰り返し要望や意見書を提出していくことが大切であると実感している。意見書の提出にあたっては、意見の裏付けとなる信頼度の高い統計数値が必要となるなど新たな数値がないと要望できない場合もある。このため、今後も様々な角度から検討を行い、国や県に対して、粘り強く様々な機会を通して働きかけていくことが大切であると考えている。

**Q** 箱根町は現在もなお、地方交付税交付金の不交付団体であるが、今後、箱根町が地方交付税交付金を受けるためには、何か方策はないのか。

**A** 企画課長 路線バスについては民間のバス事業者が提供するサービスであって行政が提供するサービスではないことから、料金を分けることは特段考えてはいない。



勝俣 陽二 議員



# 活動が縮小する中学校部活動を活性化せよ

町… 実情に応じた部活動の在り方について検討していく



折橋 尚道 議員

**Q** 中学校生徒数減少は、生徒の集団生活に制限を与え、学校生活や部活動等においても影響が大きい。現状の中学校部活動の実態はどのようになっていくか。

**A** 教育長 令和4年度中学校部活動の実態は、運動部が常設7部、特設3部の10部、文化部が2部の合計12部で、全生徒148名の約8割にあたる121名が日々活動している。今後、生徒数減少が見込まれる部活動は、学校の規定により新入部員を募集しないことにしている。

**Q** スポーツ庁は「部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」を示した。部活動が自主的、自発的な参加により行われ、地域、学校、競技種目等に応じた形で最適に実施されること、部活動の地域移行や外部指導者導入を含めて、教育委員会・学校の考え方は。

**A** 教育長 「箱根町立学校に係る部活動の方針」を策定し、生徒の発達段階や、技術レベルに合わせた指導により、心身ともに安全・安心な活動に留意し、けがや事故の未然防止に努めるとともに、体罰やハラスメントを根絶することとを定めた。また、外部指導者の確保をはじめ、部活動を通じた他校との交流支援を考えている。



# ごみ処理広域化について

町… ごみ処理広域化を推進していく



佐藤 章子 議員

**Q** ごみ処理広域化の経緯と今後の予定は。

**A** 町長 ダイオキシンの類の排出削減やごみの減量化・資源化を推進するため、国は「ごみ処理の広域化」方針を示し、県は「神奈川ごみ処理広域化計画」を策定し、それに伴い町は「小田原・足柄下ブロック」に属し、ごみ焼却施設等の広域処理体制の集約化に向け協議を進めてきた。町の焼却施設は廃止し、令和7年9月までに中継施設を整備し、可燃ごみは「湯河原美化センター焼却施設」に運搬し、ごみ焼却共同処理開始は令和7年10月を予定している。

**Q** 「湯河原美化センター」焼却処理場利用に伴う問題点は。

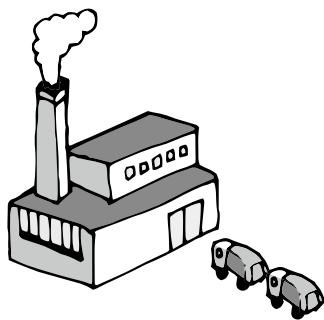
**A** 町長 ごみ共同焼却処理をするため、現在70tのごみは105tに増量するものであるが、安定的焼

却処理を実施するには今後もごみの減量化とごみ運搬を安全に実施することが課題である。

**Q** ごみ焼却処分以外の処理方法について。

**A** 町長 バイオガス化等其他の方法もあるが、全ての可燃ごみの処理ができるものではなく、安定的な処理を行うには課題が多い手法である。

この共同処理はごみ広域化の経過段階であり可燃ごみの更なる資源化について検討する必要があると考えている。



# 人口減少に対する今後の対応について

町… 大学等への進学を希望する者に、町育英奨学金条例の一部を改正、「大学等修学資金貸付金」の創設



遠藤 秀則 議員

**Q** 町では、子育て支援施策として助成や補助は大変手厚くされているが、人口は増えず減る傾向にある。そこで、大学生が自宅から学校へ通える環境作りと、通学費も助成補助がでないか。

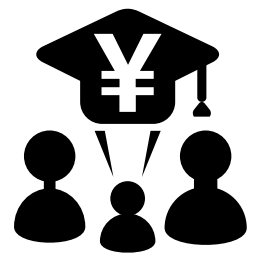
**A** 町長 大学生等を対象とした補助はしていないが、本年箱根町育英奨学金条例の一部改正で、大学等卒業後、奨学金等返還を開始から10年以内に通算5年間、町内在住した場合、返還の減免制度を導入。減免割合は、在住者は返還額の20%、在住かつ在勤者30%、導入による経済的負担の軽減、定住化、労働力確保等、波及効果が見込める制度の導入をした。

**Q** 全国的に少子化が進む中で大学等に進学する生徒が増えていると感じるが、実態は。

**A** 教育次長 大学や専門学校等へ進学する生徒は前年度より増加、大学等の高等教育機関への進学率83.8%、前年度より0.3ポイント上昇、過去最高である。

**Q** このように制度を見直した場合、対象者への周知等が大事と思うが。

**A** 学校教育課長 中学校での進路説明会で、育英奨学金、高等学校通学費補助制度や今回の条例改正の内容を含め説明し、様々な方法で周知をする。卒業後、減免制度を利用し、箱根に住み、町内で働くきっかけになればと考える。



# 消防署仙石原分署・消防団第9分団詰所建替え計画 他

町… 第2期公共施設再編設備計画で整備に取り組んでいきたい



勝俣 泰彦 議員

**Q** 新築集合住宅等のごみステーション設置指導は。

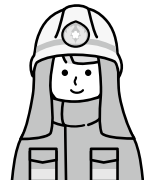
**A** 町長 新たに集合住宅が建築された際のごみ収集場所は、一般的には集合住宅管理事業者等から相談を受け対応しており、地域自治会と既存ごみステーションを活用できるか調整していただき、ごみの量が增大し対応できない場合は、ごみステーション増設を検討する。

**Q** 集合住宅等のごみステーション設置義務化は。

**A** 環境課長 不適正な廃棄物の排出は、全ての集合住宅で問題が生じていないため、引き続き周知徹底していく。問題解決に至らない事例が生じる場合は、ごみステーションの設置義務化を検討していく。

**Q** 消防署仙石原分署・消防団第9分団詰所建替え計画等は。

**A** 町長 仙石原分署は建築後50年が経過していることから、第1期公共施設再編整備計画において、整備に係る方針を今年度検討し、来年度からの第2期公共施設再編整備計画において、整備に取り組んでいきたい。消防団第9分団詰所については、昭和46年度に建築し、仙石原温泉荘・高原元箱根地区を管轄する重要な拠点施設である。今後も適切な維持管理を行っていくが、建替え等については建物の老朽度等を注視しながら、他の消防団詰所の状況等を踏まえて総合的に判断し、計画的に整備を図っていく。





# 健康づくりの推進を！

## 町… 受診勧奨、利用勧奨に努める



村野 由紀子 議員

**Q** 特定健康診査は、40歳から74歳の国民健康保険加入者が対象の健康診査で生活習慣病の発症や重症化予防が目的の国が定めた法定健診。令和2年度の受診率は、32.2%、県内市町村の平均25.7%から比較すると高い数値。特定健診を受診された方の中で糖尿病あるいは、疑いのある方は80人ほど。静岡県富士市では、3年以内に糖尿病を発症する確率を表示するシステム「糖尿病リスク予測ツール」をホームページに載せて誰もが利用できるようにしているが町の見解は。

**A** 保険健康課長 糖尿病は、網膜症、腎症、神経障害の3大合併症に加えて心血管疾患、がん、認知症などの様々な疾患リスクを高め、健康寿命を延伸するため予防対策の課題となっている。研究していく。

**Q** 健康診断や健康教室などに参加し、お元氣ポイント、健康ポイントを付与するといった取り組みを他の市町村でも行っているが町の見解は。

**A** 保険健康課長 近隣市町村の事例を参考に研究する。

**Q** 災害時の医療受診体制や人工透析患者の対応は。

**A** 保険健康課長 全国各地から医療従事者の応援を受けることによるため、地域の医療機関との連携、透析患者のように透析ができないと命に係わる方の把握、搬送など速やかに対応できるよう努めている。



# 個人情報やプライバシーの権利は守られるか

## 町… セキュリティの強靱化に一層力を入れていく



山田 和江 議員

**Q** デジタル技術は人類が生み出した最新の技術であり、自治体においてもこの技術を有効に活用して地方自治法にうたわれている住民の福祉の増進と自治体職員の労働条件の改善を図ることは必要である。しかし、今政府が進めるデジタル化戦略では個人情報保護が後退し、自治体業務の集約化など地方自治の根幹にかかわる問題が浮上している。町でDXフェローを委嘱した2名は地方公務員法の服務規程はあるか。所属企業の入札規制は。

**A** 町長 個人情報の扱いはがないので個人の有償ボランティアで所属企業が参加資格を満たせば規制は特に設ける考えはない。

**Q** デジタル化の中で個人情報の権利は守られるか。

**A** 町長 業務の利便性・効率性の追求だけでなく、住民の大切な個人情報という財産を守るために国のガイドラインに沿いながらセキュリティの強靱化に一層力を入れていきたい。

**Q** 国が指定する自治体の20業務は国の定める標準仕様に適合することが義務づけられたが、町独自の住民サービスはどうなるか。

**A** 町長 法定事務のシステムを各自自治体が整備するのは非効率とされ国のシステムに移行するが町独自のサービスは十分に研究していく。



DX＝デジタルトランスフォーメーションの略  
DXフェロー＝DX研究職



## 町議会議員の適正定数に係る調査に関する決議について

### 議員定数の変遷

改選年	経緯	定数	削減数
昭和31年9月	合併時議員数 72 人		
昭和32年9月	合併後初の議員改選	26	2
昭和56年9月		24	2
昭和60年9月		22	2
平成9年9月		20	2
平成13年9月	箱根町議会議員の適正定数の調査に関する特別委員会において協議	18	2
平成17年9月	箱根町議会議員適正定数調査特別委員会において協議	16	2
平成21年9月	箱根町議会議員適正定数調査特別委員会において協議	15	1
平成25年9月	正副議長各会派代表者会議からの提案後、議会改革等調査特別委員会において協議	14	1

箱根町議会では、9月定例会に上程された「町議会議員の適正定数に係る調査に関する決議について」議会改革及び行財政改革を推進していく中で、住民の議会に対する期待に応え、簡素で効率的な議会運営を目的として、箱根町議会議員の適正定数について調査することに決定いたしました。9月定例会最終日に初回の審議をした結果、「箱根町議会議員適正定数調査特別委員会」を設置し、委員長に稲葉親太郎委員、副委員長に川口証明委員が選任され、今後全議員で調査研究を進めてまいります。

箱根町議会議員適正定数調査特別委員会  
委員長 稲葉親太郎

## 箱根町総合防災訓練（実施場所：仙石原浄水センター）

令和4年9月6日 実施

- 訓練参加団体 陸上自衛隊ほか15団体。
- 協力団体 箱根町自治会連絡協議会ほか5団体。



箱根町消防による救出訓練



赤十字奉仕団と陸上自衛隊による救助者搜索・救出救助訓練



箱根町消防による消火訓練



消防団による応急手当訓練

町民の財産と生命を守るため、箱根町総合防災訓練が実施されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3年ぶりに防災関係機関のみの参加による訓練となりました。  
緊急時には日頃からの備えが必要です。災害から身を守るために家族や地域の方と、災害に対する備えや、避難場所等について再度確認してみましょう。



## 日本武尊「吾妻はやの碑」、ご存じですか？



宮城野碓氷峠（林道）付近

ヤマトタケル（日本武尊）が東国の征討からの帰途、亡き妻をしのいで「あづまはや」と三度嘆いたという伝説にちなんだ石碑です。東国を表す「吾妻」の語源ともされるその場所を、碓氷峠や坂本（南足柄市関本）など、伝説に登場する地名が周辺に残る宮城野と見なし、大正6年（1917）に建てられました。

（投稿者 広報広聴委員会 遠藤秀則 委員）

## 姉妹都市 洞爺湖町議会議員 来町



10月18日 役場本庁舎前で

姉妹都市の洞爺湖町議会とは、お互いの議会の向上と親睦を深めるため、相互交流を行っています。コロナ禍により、なかなか行き来ができない状況が続いていますが、今回は、4年ぶりに洞爺湖町から10名の議員と、2名の町職員の方々が箱根を親善訪問してくれました。初日は交流会にて意見交換を行い、翌日には芦ノ湖で箱根観光船に乗船後、箱根駅伝ミュージアムを見学されるなど、姉妹都市の絆を深めました。

## 12月定例会開催日（予定）

**本会議** 11月30日（水）、12月6日（火）、  
12月9日（金）

※11月22日（火）開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。

詳しくは、議会事務局（☎85-9570）までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

広報広聴委員会

委員長  
副委員長  
委員

勝俣 泰彦  
川口 延明  
勝俣 陽二  
勝俣 剛一  
稲葉親太郎  
遠藤 秀則